

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(2)	来年度平成26年度より現在の仮施設から移転して新しい地域環境で事業を行うので、地域のコミュニティの中で、地域の一員として受入れられ交流できる。	・良い関係での地域との交流ができる。 ・地域の方もホームに足を運んで交流できる。	・チラシ配布等挨拶まわりを行う。 ・畑や花壇等を共同で作る。 ・散歩等外出活動を多くする。 ・地域の方が交流できるイベントを企画・実施する。	平成26年 4月から 1年間
2	34 (13)	新年度より職員の配置換えや事業所環境の変化があり、スタッフも利用者の慣れない環境で生活するので、救急時の対応や災害対応の準備が十分でないことが予想される。	・利用者の安全が確保できる。 ・スタッフの一定以上の質を確保できる。 ・利用者・スタッフの不安の少ない環境ができる。	・応急対応の研修・訓練を行う。 ・新しい防災計画の作成・周知・訓練の実施	平成26年 4月から 1年間
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。